

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成20年8月13日
【四半期会計期間】	第1期第1四半期 (自平成20年4月1日至平成20年6月30日)
【会社名】	株式会社ココカラファイン ホールディングス
【英訳名】	cocokara fine HOLDINGS Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 塚本 厚志
【本店の所在の場所】	東京都大田区山王二丁目1番7号
【電話番号】	042(368)8701
【事務連絡者氏名】	取締役経営管理本部長 鈴木 芳孝
【最寄りの連絡場所】	東京都府中市美好町二丁目12番2号
【電話番号】	042(368)8746
【事務連絡者氏名】	取締役経営管理本部長 鈴木 芳孝
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号) 株式会社ココカラファイン ホールディングス大阪本部 (大阪府中央区南船場二丁目7番30号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

連結経営指標等

回次	第1期 第1四半期連結 累計(会計)期間
会計期間	自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日
売上高 (百万円)	39,566
経常利益 (百万円)	1,621
四半期純利益 (百万円)	869
純資産額 (百万円)	39,833
総資産額 (百万円)	73,881
1株当たり純資産額 (円)	2,000.13
1株当たり四半期純利益 (円)	43.66
潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益 (円)	
自己資本比率 (%)	53.9
営業活動による キャッシュ・フロー (百万円)	503
投資活動による キャッシュ・フロー (百万円)	262
財務活動による キャッシュ・フロー (百万円)	663
現金及び現金同等物の 四半期末残高 (百万円)	10,295
従業員数 (名)	2,529

(注) 1 売上高には、消費税等は含まれておりません。

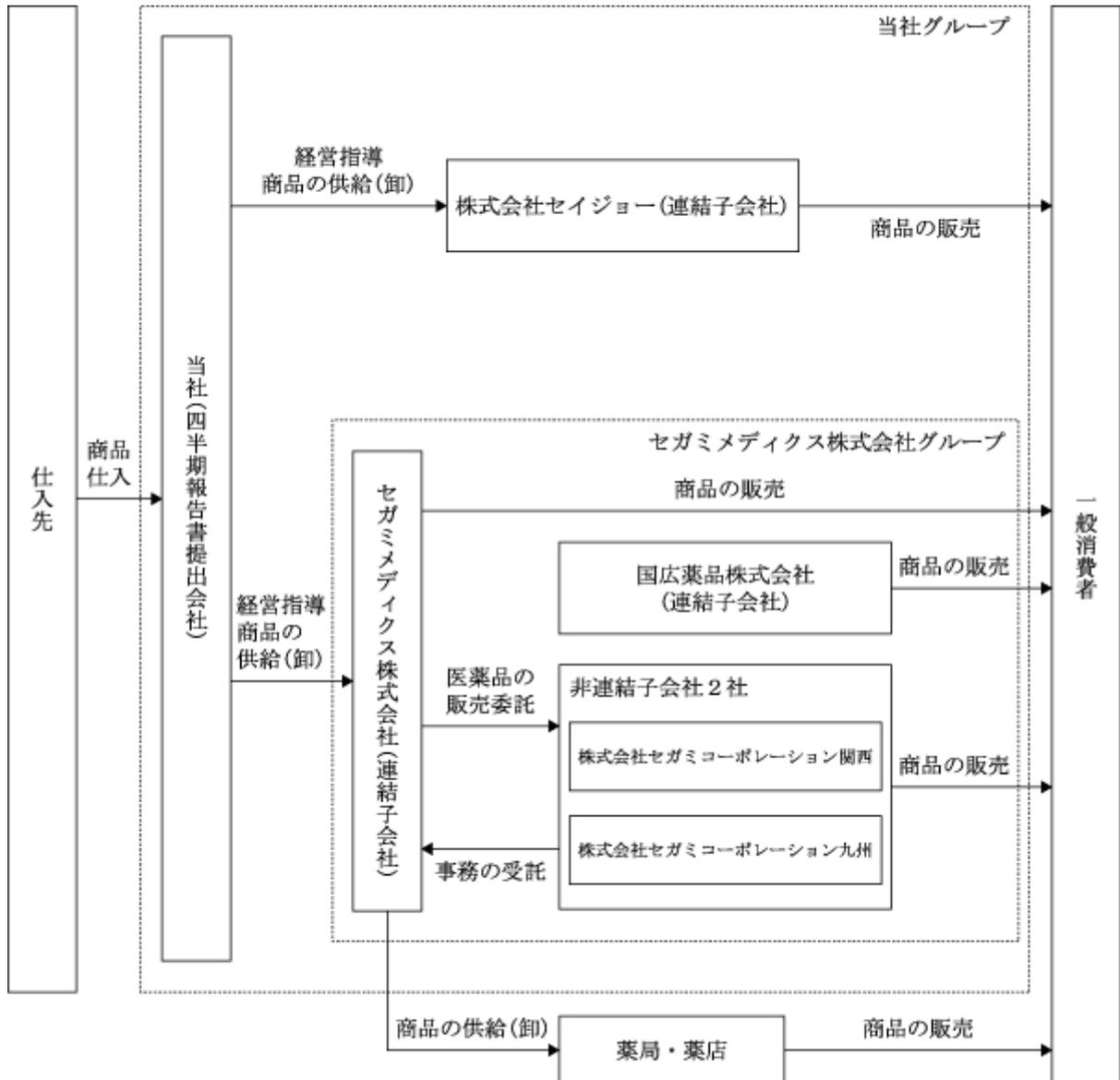
2 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当社は、平成20年4月1日に株式会社セイジョーとセガミメディクス株式会社が、共同して株式移転の方法により完全親会社として設立いたしました。

当社グループ（当社及当社の関係会社）は、当社及び連結子会社3社及び非連結子会社2社により構成されており、医薬品、化粧品、日常生活商品等の店頭販売及び薬局の経営を主たる事業とする小売業を主な事業としております。

（事業系統図）



(注) セガミメディクス株式会社の卸売先である薬局・薬店は、主として当社の独立支援制度に基づき元従業員が経営する店舗であります。

主要取扱商品

商品区分	主要品目
医薬品	保健栄養剤・ドリンク剤・風邪薬・解熱鎮痛剤・胃腸薬・皮膚病薬・季節外用剤・外用消炎剤・目薬・コンタクト用剤・その他医薬品・調剤薬品及び調剤技術に係る収入
化粧品	基礎化粧品・メイク化粧品・男性化粧品・ヘアケア等
日用生活商品	生理用品・オーラルケア・洗剤・入浴用品・殺虫剤・その他日用生活商品
その他	健康食品・衛生材料・医療器具・ベビー用品・食品・ペット用品・衣料・荒物等

3 【関係会社の状況】

名称	住所	資本金 又は出資金 (百万円)	主要な事業の内容	議決権の所有 又は被所有 割合(%)	関係内容
(連結子会社) 株式会社セイジョー (注)1	東京都 府 中市	3,958	ドラッグストア並びに調剤を 主体とした薬局を営む小売業	所有 100.0	当社が、商品の納入、資金の借入、出向者の派遣等を行っております。 役員の兼任 5名
(連結子会社) セガミメディクス 株式会社(注)1	大阪市 中央区	1,587	ドラッグストア並びに調剤を 主体とした薬局を営む小売業 及び卸売業	所有 100.0	当社が、商品の納入、資金の借入、出向者の派遣等を行っております。 役員の兼任 5名
(連結子会社) 國廣薬品株式会社 (注)2	山口県 周南市	10	ドラッグストア並びに調剤を 主体とした薬局を営む小売業	所有 100.0 (100.0)	セガミメディクス株式会社の連結子会社

(注)1 特定子会社であります。

2 「議決権の所有又は被所有割合」欄の(内書)は間接所有割合であります。

4 【従業員の状況】

(1) 連結会社における状況

平成 20年 6月30日現在

従業員数(名)	2,529 (2,607)
---------	------------------

(注) 従業員数は、就業人員であり、従業員数の(外書)は、パートタイマー及びアルバイト(1日8時間換算)であります。

(2) 提出会社の状況

平成20年 6月30日現在

従業員数(名)	13 (1)
---------	-----------

(注)1 従業員数は、当社から他社への出向者を除き、他社から当社への出向者を含む就業人員であります。

2 従業員数は、就業人員であり、従業員数の(外書)は、パートタイマー及びアルバイト(1日8時間換算)であります。

第2 【事業の状況】

当社は、平成20年4月1日に(株)セイジョーとセガミメディクス(株)が経営統合し、両社を完全子会社とする共同持株会社として設立されました。「四半期報告書」は当第1四半期連結会計期間より作成しておりますので、前期実績及び対前期増減率は記載しておりません。

1 【仕入及び販売の状況】

当社グループは生産を行っておりませんので、生産実績に代えて商品仕入実績を記載しております。当第1四半期連結会計期間における仕入実績及び販売実績を商品別に示すと次のとおりであります。

(1) 商品仕入実績

区分	金額(百万円)
医薬品	7,877
化粧品	9,983
日常生活用品	5,758
その他	5,169
合計	28,788

(注) 1 上記金額は、仕入価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。

2 その他の主な内容は、健康食品・衛生材料・医療器具・ベビー用品等であります。

(2) 販売実績

区分	金額(百万円)
医薬品	12,218
化粧品	13,017
日常生活用品	6,769
その他	7,047
計	39,052
卸	513
合計	39,566

(注) 1 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等は行われておりません。

3 【財政状態及び経営成績の分析】

(1) 経営成績の分析

当第1四半期におけるわが国の経済は、サブプライムローン問題による株価下落、原油高、原材料のコスト高により、製造業を中心として堅調であった企業収益に陰りが見えてまいりました。スタグフレーションの兆しの中、小売業におきましても、ガソリンや食料品を中心とした値上げラッシュなどによる先行き不安から、消費者心理が萎縮しはじめております。

さらにドラッグストア業界におきましては、オーバーストア現象（商圈下、需要より供給が過剰になるほど店舗数が増加する現象）等により、価格競争が激しさを増し、厳しい状況が続いております。M & A や資本・業務提携等の業界再編が加速される中、生き残りのため企業独自の差異化戦略が必要不可欠になってまいりました。

このような状況下、セガミメディクス株式会社（以下「セガミ」という）及び株式会社セイジヨー（以下「セイジヨー」という）は、今後急速に移行するセルフメディケーション（自身の健康は自らが守る）時代に社会貢献しうる企業として、事業規模・質ともに最適化することを目的に、平成20年4月1日経営統合し、株式会社ココカラファイン ホールディングス（以下「ココカラファインHD」という）を設立いたしました。

統合後の活動実績といたしましては、商品施策運営の統一を行なうため、セガミ・セイジヨー両事業会社の仕入部門をココカラファインHDへ一本化した運営を開始し、商品販売戦略の強化を推進しております。また、管理部門におきましても会計システムを平成20年4月1日より統一化したほか、両社のシステム環境を評価し、次世代に向けた情報システム等、経営管理に関わる様々な事項にも着手しております。また、新規出店はセガミ・セイジヨー両事業会社合算して10店舗を出店し、不採算店11店舗を閉店いたしました。この結果、当該四半期末の店舗数は以下のとおり625店舗（内調剤取扱111店舗）となりました。

（単位：店）

	セガミ	セイジヨー	合計
期首店舗数	355	271	626
（内調剤取扱）	(61)	(48)	(109)
出店	6	4	10
（内調剤取扱）	(1)	(1)	(2)
閉店	6	5	11
（内調剤取扱）	-	-	-
第1四半期末店舗数	355	270	625
（内調剤取扱）	(62)	(49)	(111)

個人消費の陰りや関東・九州における長雨等天候不順の影響を受けましたが、経営統合により地域別に互いを補完し合う効果と相俟って、当第1四半期の連結業績は、売上高39,566百万円、営業利益846百万円、経常利益1,621百万円、四半期純利益869百万円となりました。

(2) 財政状態の分析

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、38,343百万円となりました。主な内訳は、現金及び預金9,518百万円、商品20,144百万円であります。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、35,538百万円となりました。主な内訳は、有形固定資産 18,163百万円、投資その他の資産15,655百万円であります。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、25,558百万円となりました。主な内訳は、支払手形及び買掛金16,782百万円、短期借入金1,200百万円、ポイント引当金764百万円、未払法人税等589百万円であります。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、8,488百万円となりました。主な内訳は、負ののれん5,543百万円、退職給付引当金2,243百万円であります。

(純資産及び総資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、39,833百万円、総資産の残高は73,881百万円となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は10,295百万円となりました。

当第1四半期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、503百万円となりました。

これは、税金等調整前四半期純利益が1,379百万円に対して、主な増加要因として非資金費用である減価償却費の計上が488百万円、引当金の減少が377百万円等があったものの、減少要因としてたな卸資産の増加が467百万円、法人税等の支払額が1,488百万円あったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、262百万円となりました。

これは主として有形固定資産の取得による支出483百万円、敷金・保証金等の増加による支出（収入差引後）が139百万円等があったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は、663百万円となりました。

これは主として配当金の支払額653百万円等によるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

事業上の対処すべき課題といたしましては、ドラッグストア業界は、ディスカウントだけでは勝ち残れない時代となりました。今後ますます出店競争の激化が進み、規制緩和による他業種参入が予想される中で、他社との明確な差異化のためには、サービスの質をグレードアップしていくことが不可欠であると考えます。

また、近年の医療制度改革の推進により、生活者の健康維持・未病対策等に対する意識が高まりつつあります。生活者の健康ニーズの高まりに対して、ドラッグストアの果たすべき役割は大きく、その社会的期待も大きくなってきております。当グループは、その社会的期待に応えるためのサービスの開発を他社との差異化戦略ととらえ、今後取り組むべき大きな課題であると考えております。お客さまの身近な存在である「かかりつけ薬局」を目指し、物販だけでなく健康サービスを総合的に提供することで、地域社会に貢献し、CSR（企業の社会的責任）を果たしていきたいと考えます。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3 【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

(1) 提出会社

提出会社につきましては、該当事項はございません。

(2) 連結子会社

会社名	事業所名 (所在地)	事業の名称	設備の 内容	帳簿価額(百万円)					従業員数 (名)	売場面積 (㎡)
				建物及び 構築物	器具備品 及び運搬具	土地 (面積㎡)	その他	合計		
株式会社 セイジョー	北茨城中郷店 (茨城県北茨城市)	医薬品等の販売	店舗	31	14	()	12	57	3 [8]	677.51
株式会社 セイジョー	真岡東光寺店 (栃木県真岡市)	医薬品等の販売	店舗	21	9	()	21	52	2 [6]	730.53
株式会社 セイジョー	甲府昭和店 (山梨県中巨摩郡 昭和町)	医薬品等の販売	店舗	22	11	()		33	1 [8]	1,233.08
株式会社 セイジョー	篠崎店 (東京都江戸川 区)	医薬品等の販売	店舗	30	3	()	6	40	2 [4]	268.00
株式会社 セイジョー	砧店 (東京都世田谷 区)	医薬品等の販売	店舗	36	9	()		46	4 [5]	197.02
セガメディクス 株式会社	大牟田不知火店 (福岡県大牟田市)	医薬品等の販売	店舗	23	6	()	21	51	3 [4]	537.50
セガメディクス 株式会社	坂出店 (香川県坂出市)	医薬品等の販売	店舗	5	10	()	15	31	3 [7]	701.29
セガメディクス 株式会社	おのだサンパーク 店 (山口県山陽小野 田市)	医薬品等の販売	店舗	8	11	()	26	47	3 [4]	278.50
セガメディクス 株式会社	堂島店 (大阪市福島区)	医薬品等の販売	店舗	14	8	()	29	51	3 [1]	75.60

- (注) 1 上記金額には、消費税等は含まれておりません。
2 「その他」は、建設仮勘定、無形固定資産及び差入保証金、敷金、長期前払費用であります。
3 従業員数の[]内は、パートタイマー及びアルバイト(8時間換算)の年間平均人数であり、外数表示しております。

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第1四半期連結会計期間において、連結子会社各社の前期末に計画中であった重要な設備の新設、除却等について、重要な変更並びに重要な設備計画の完了はありません。

また、当第1四半期連結会計期間において、新たに確定した重要な設備の新設、除却等はありません。

第4 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	79,687,000
計	79,687,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成20年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成20年8月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	19,922,156	19,922,156	東京証券取引所 (市場第一部)	
計	19,922,156	19,922,156		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成20年4月1日	19,922,156	19,922,156	1,000	1,000	250	250

(注) 設立に伴う増加であります。

(5) 【大株主の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の大株主の状況については、実質株主が把握できず、記載することができませんので、直前の基準日である平成20年4月1日の株主名簿により記載しております。

平成20年4月1日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に対する 所有株式数の割合(%)
齊藤 正人	東京都世田谷区	1,759	8.83
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(管理信託口)	東京都港区浜松町2丁目11 3	1,683	8.44
セガミ不動産株式会社	大阪市中央区南船場2丁目7 30	1,135	5.70
セガミメディクス従業員持株会	大阪市中央区南船場2丁目7 30	719	3.61
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海1丁目8 11	662	3.32
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	東京都港区浜松町2丁目11 3	606	3.04
第一三共ヘルスケア株式会社	東京都中央区日本橋小網町1 8	583	2.92
ノーザントラストカンパニーエイブイエフシーサブアカウントアメリカンクライアント(常任代理人 香港上海銀行東京支店)	50 BANK STREET CANARY WHART LONDON E14 5NT UK (東京都中央区日本橋3丁目11 1)	501	2.51
モルガンスタンレーアンドカンパニーインク(常任代理人 モルガン・スタンレー証券株式会社)	1585 Broadway, New York, NY 10036 (東京都渋谷区恵比寿4丁目20 3)	495	2.48
齊藤 昭子	東京都世田谷区	414	2.08
万城目 ひとみ	東京都世田谷区	406	2.04
山口 裕子	東京都世田谷区	406	2.04
計		9,374	47.01

(6) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の議決権の状況については、実質株主が把握できず、記載することができませんので、直前の基準日である平成20年4月1日の株主名簿により記載しております。

【発行済株式】

平成20年4月1日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(相互保有株式) 普通株式 800		
完全議決権株式(その他)	普通株式19,827,400	198,244	
単元未満株式	普通株式 93,956		
発行済株式総数	19,922,156		
総株主の議決権		198,244	

(注) 1 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式3,000株が含まれておりません。なお、「議決権の数」の欄には、同機構名義の議決権の数30個が含まれておりません。

2 「単元未満株式」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式50株が含まれております。

【自己株式等】

平成20年4月1日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(株)セイジョー	東京都世田谷区成城六丁目16 7	800		800	0.0
計		800		800	0.0

2 【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成20年 4月	5月	6月
最高(円)	2,420	2,305	2,520
最低(円)	1,500	1,760	2,030

(注) 株価は、東京証券取引所市場第一部におけるものであります。

3 【役員 の 状 況】

平成20年4月1日に設立された株式会社ココカラファイン ホールディングスの役員 の 状 況 は、次 の と お り で あ り ま す。

(1) 新任役員

役名	職名	氏名	生年月日	略歴	任期	所有株式数 (千株)
代表取締役 会長		瀬上 修	昭和17年3月31日 生	昭和45年6月 昭和54年11月 昭和58年3月 平成3年1月 平成5年11月 平成20年4月 セガミメディクス株式会社入社 セガミメディクス株式会社取締役管理 部長 セガミメディクス株式会社常務取締役 セガミメディクス株式会社取締役副社 長 セガミメディクス株式会社代表取締役 社長(現任) 当社代表取締役会長(現任)	1年	308
代表取締 役 社長		塚本 厚志	昭和37年11月4日 生	昭和60年4月 平成8年12月 平成11年7月 平成13年12月 平成14年12月 平成18年5月 平成20年4月 株式会社セイジョー入社 株式会社セイジョー取締役支店部長 株式会社セイジョー取締役営業部長 株式会社セイジョー常務取締役営業本 部長 株式会社セイジョー代表取締役社長 株式会社セイジョー代表取締役社長 株式会社WINドラッグ代表取締役社 長兼務(現任) 当社代表取締役社長(現任)	1年	29
取締役	経営管理 副本部長	上田 清	昭和22年5月17日 生	昭和41年3月 平成8年11月 平成11年6月 平成16年6月 平成19年4月 平成20年4月 セガミメディクス株式会社入社 セガミメディクス株式会社取締役管理 部長 セガミメディクス株式会社取締役管理 本部長 セガミメディクス株式会社常務取締役 管理本部長 セガミメディクス株式会社常務取締役 管理部長 当社取締役経営管理副本部長、セガミメ ディクス株式会社常務取締役管理本部 長(現任)	1年	32
取締役	開発本部長	齊藤 正人	昭和32年1月18日 生	昭和54年4月 昭和55年11月 昭和57年11月 平成9年12月 平成19年10月 平成20年4月 株式会社セイジョー入社 株式会社セイジョー監査役 株式会社セイジョー専務取締役 株式会社セイジョー取締役副社長 株式会社セイジョー取締役副社長企画 開発本部長(現任) 当社取締役開発本部長(現任)	1年	1,759
取締役	業態開発室長 兼MD推進 本部長	濱野 和夫	昭和25年9月12日 生	昭和49年4月 平成2年2月 平成11年6月 平成13年6月 平成14年4月 平成16年6月 平成19年4月 平成20年4月 セガミメディクス株式会社入社 セガミメディクス株式会社九州支社長 セガミメディクス株式会社取締役営業 本部長補佐 セガミメディクス株式会社取締役営業 副本部長 セガミメディクス株式会社取締役営業 本部長 セガミメディクス株式会社常務取締役 営業本部長 セガミメディクス株式会社常務取締役 事業開発室長(現任) 当社取締役業態開発室長兼MD推進本 部長、セガミメディクス株式会社常務取 締役(現任)	1年	22

取締役	商品本部長	橋爪 薫	昭和37年1月4日 生	昭和60年4月 平成12年4月 平成12年12月 平成13年12月 平成14年12月 平成16年6月 平成18年9月 平成19年10月 平成20年4月	株式会社セイジョー入社 株式会社セイジョー営業部長 株式会社セイジョー取締役営業部支店 部長 株式会社セイジョー取締役営業部長 株式会社セイジョー専務取締役営業本 部長 株式会社セイジョー専務取締役商品本 部長 株式会社セイジョー専務取締役営業本 部長 株式会社セイジョー専務取締役営業統 括本部長（現任） 当社取締役商品本部長（現任）	1年	16
-----	-------	------	----------------	---	---	----	----

役名	職名	氏名	生年月日	略歴	任期	所有株式数 (千株)
取締役	経営企画室長	重田 陽平	昭和28年3月14日生	昭和50年4月 株式会社三和銀行(現 株式会社三菱東京UFJ銀行)入行 平成16年2月 セガミメディクス株式会社入社 平成16年4月 セガミメディクス株式会社経営企画室長 平成16年6月 セガミメディクス株式会社取締役経営企画室長(現任) 平成20年4月 当社取締役経営企画室長(現任)	1年	0
取締役	経営管理 本部長	鈴木 芳孝	昭和25年2月12日生	昭和47年4月 株式会社三菱銀行(現 株式会社三菱東京UFJ銀行)入行 平成13年2月 株式会社セイジョー出向 経理部長 平成13年12月 株式会社セイジョー入社 経理部長 平成13年12月 株式会社セイジョー常務取締役財務・経理・法務担当 平成15年12月 株式会社セイジョー専務取締役経営管理本部長 平成19年10月 株式会社セイジョー専務取締役経営企画管理本部長 平成20年4月 当社取締役経営管理本部長(現任) 平成20年5月 株式会社セイジョー専務取締役経営企画管理室室長(現任)	1年	13
常勤監査 役		竹本 雅俊	昭和17年3月6日生	昭和40年4月 株式会社資生堂入社 平成2年6月 株式会社資生堂情報システム部長 平成7年6月 株式会社資生堂監査役 平成14年6月 セガミメディクス株式会社監査役(現任) 平成20年4月 当社常勤監査役(現任)	4年	1
監査役		小菅 泉	昭和15年5月11日生	昭和38年4月 株式会社三菱銀行(現 株式会社三菱東京UFJ銀行)入行 昭和63年10月 株式会社三菱銀行(現 株式会社三菱東京UFJ銀行)静岡支店長 平成9年6月 菱友計算株式会社常務取締役 平成15年12月 株式会社セイジョー監査役(現任) 平成20年4月 当社監査役(現任)	4年	
監査役		関口 要蔵	昭和15年7月28日生	昭和40年4月 コクヨ株式会社入社 平成9年6月 コクヨ株式会社取締役店舗事業部長 平成11年6月 コクヨ株式会社執行役員 平成12年6月 コクヨ株式会社上席執行役員 平成12年10月 株式会社カウネット代表取締役 平成13年6月 コクヨ株式会社顧問 平成16年6月 株式会社カウネット代表取締役退任 平成20年4月 コクヨ株式会社監査役(現任) 当社監査役(現任)	4年	

- (注) 1 監査役竹本雅俊・小菅泉及び関口要蔵は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。
- 2 取締役の任期は、平成20年4月1日である当社の設立日より、平成21年3月期に係る定時株主総会終結の時までであります。
- 3 監査役の任期は、平成20年4月1日である当社の設立日より、平成24年3月期に係る定時株主総会終結の時までであります。
- 4 所有株式数は、平成20年4月1日現在の株主名簿により作成しております。
- 5 当社は、法令に定める監査役の員数を欠くことになる場合に備え、会社法第329条第2項に定める監査役補欠者1名を選出しております。

監査役補欠者の略歴は以下のとおりであります。

氏名	生年月日	略歴	任期	所有株式数 (千株)
和田 伸之	昭和17年1月16日生	昭和35年4月 霞ヶ関信用組合 入社 平成1年6月 霞ヶ関信用組合 業務部長 平成5年4月 株式会社三菱銀行(現 株式会社三菱東京UFJ銀行)支店第一部部長代理 平成7年8月 萬興業株式会社(現 株式会社丸の内よろず)入社 平成17年1月 萬興業株式会社(現 株式会社丸の内よろず) 定年退職 平成17年12月 株式会社セイジョー補欠監査役(現任) 平成20年4月 当社補欠監査役(現任)	1年	

第5 【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号、以下「四半期連結財務諸表規則」という。)に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第1四半期連結累計期間(平成20年4月1日から平成20年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人により四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

当第1四半期連結会計期間末
(平成20年6月30日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	9,518
売掛金	3,085
有価証券	800
商品	20,144
その他	4,798
貸倒引当金	3
流動資産合計	38,343
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物	7,563
土地	9,080
その他	1,519
有形固定資産合計	18,163
無形固定資産	
のれん	447
その他	1,272
無形固定資産合計	1,719
投資その他の資産	
敷金及び保証金	13,322
その他	2,534
貸倒引当金	201
投資その他の資産合計	15,655
固定資産合計	35,538
資産合計	73,881
負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	16,782
短期借入金	1,200
1年内償還予定の社債	120
未払法人税等	589
賞与引当金	344
ポイント引当金	764
その他	5,757
流動負債合計	25,558
固定負債	
社債	10
退職給付引当金	2,243
負ののれん	5,543

(単位:百万円)

当第1四半期連結会計期間末
(平成20年6月30日)

その他	691
固定負債合計	8,488
負債合計	34,047
純資産の部	
株主資本	
資本金	1,000
資本剰余金	24,981
利益剰余金	13,743
自己株式	12
株主資本合計	39,711
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	121
評価・換算差額等合計	121
純資産合計	39,833
負債純資産合計	73,881

(2) 【 四半期連結損益計算書 】
 【 第 1 四半期連結累計期間 】

(単位 : 百万円)

	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年 6 月30日)
売上高	39,566
売上原価	28,321
売上総利益	11,245
販売費及び一般管理費	10,398
営業利益	846
営業外収益	
負ののれん償却額	291
その他	544
営業外収益合計	836
営業外費用	
貸倒引当金繰入額	13
株式公開費用	21
その他	26
営業外費用合計	61
経常利益	1,621
特別利益	
貸倒引当金戻入額	1
ゴルフ会員権売却益	0
特別利益合計	1
特別損失	
固定資産除却損	41
店舗閉鎖損失	19
賃貸借契約解約損	65
減損損失	43
過年度ポイント引当金繰入額	63
その他	9
特別損失合計	243
税金等調整前四半期純利益	1,379
法人税、住民税及び事業税	510
四半期純利益	869

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

当第1四半期連結累計期間
(自平成20年4月1日
至平成20年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	1,379
減価償却費及びその他の償却費	488
減損損失	43
負ののれん償却額	270
引当金の増減額(は減少)	377
受取利息及び受取配当金	14
支払利息	4
固定資産受贈益	50
固定資産除却損	41
店舗閉鎖損失	84
売上債権の増減額(は増加)	122
たな卸資産の増減額(は増加)	467
仕入債務の増減額(は減少)	164
その他	1,164
小計	1,984
利息及び配当金の受取額	8
利息の支払額	1
法人税等の支払額	1,488
営業活動によるキャッシュ・フロー	503
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の払戻による収入	500
有形固定資産の取得による支出	483
敷金及び保証金の差入による支出	252
敷金及び保証金の回収による収入	113
その他	140
投資活動によるキャッシュ・フロー	262
財務活動によるキャッシュ・フロー	
社債の償還による支出	10
配当金の支払額	653
財務活動によるキャッシュ・フロー	663
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	422
現金及び現金同等物の期首残高	3,097
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	7,620
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,295

【継続企業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況】

当第1四半期連結会計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

該当事項はありません。

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

当社は平成20年4月1日に(株)セイジョーとセガミメディクス(株)が経営統合し両社を完全子会社とする共同持株会社として設立されました。四半期連結財務諸表は、当第1四半期連結会計期間から作成しておりますので、「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等」を記載しております。

四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等

当第1四半期連結会計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
<p>1 連結の範囲に関する事項</p> <p>(1) 連結子会社の数 3社 連結子会社の名称 (株)セイジョー セガミメディクス(株) 國廣薬品(株)</p> <p>(2) 非連結子会社の名称等 非連結子会社 (株)セガミコーポレーション関西 (株)セガミコーポレーション九州 (連結の範囲から除いた理由) 非連結子会社は、いずれも小規模であり、合計の総資産、売上高、第1四半期純損益(持分に見合う額)及び利益剰余金(持分に見合う額)等は、いずれも第1四半期連結財務諸表に重要な影響を及ぼしていないためであります。</p>
<p>2 持分法の適用に関する事項 持分法を適用した非連結子会社及び関連会社はないため、該当事項はありません。</p>
<p>3 連結子会社の四半期連結決算日に関する事項 連結子会社の四半期決算日は、四半期連結決算日と一致しております。</p>
<p>4 会計処理基準に関する事項</p> <p>(1) 重要な資産の評価基準及び評価方法</p> <p>有価証券 満期保有目的の債券 償却原価法(定額法)</p> <p>その他有価証券 a 時価のあるもの 四半期連結決算日の市場価格等に基づく時価法 (評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)</p> <p>b 時価のないもの 移動平均法による原価法</p> <p>たな卸資産 商品 総平均法による原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法) ただし、(株)セイジョーの商品(調剤薬品は除く)については、</p>

当第1四半期連結会計期間
(自平成20年4月1日
至平成20年6月30日)

売価還元法による原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)

(2) 重要な減価償却資産の減価償却の方法

有形固定資産

定率法を採用しています。

ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物(建物附属設備を除く)については定額法を採用しています。

なお、耐用年数及び残存価額については法人税法に規定する方法と同一の基準によっております。

無形固定資産

定額法を採用しています。

ただし、ソフトウェア(自社利用分)については、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法を採用しています。

投資その他の資産(その他 長期前払費用)

定額法を採用しています。

(3) 重要な引当金の計上基準

貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

賞与引当金

従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額に基づき計上しております。

ポイント引当金

ポイントカードの利用による売上値引きに備えるため、使用実績率に基づき将来利用されると見込まれる額を見積もり計上しております。

退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当連結会計年度末における退職給付債務の見込額に基づき、当第1四半期連結会計期間末において発生していると認められる額を計上しています。

なお、数理計算上の差異については、(株)セイジョーは、各期の発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(3年)による定額法により按分した額を、セガミメディクス(株)は、各期の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(10年)による定率法により按分した額をそれぞれ発生年度から費用処理しております。

また、過去勤務債務については、その発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(5年)による定額法により処理しております。

(4) 重要なリース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

(5) その他四半期連結財務諸表作成のための重要な事項

消費税等の会計処理について

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

のれん及び負ののれんの償却に関する事項

のれんについては、のれんの影響が及ぶ期間を考慮し、5年間または10年間の均等償却を行っております。また負ののれんについては、同様に5年間の均等償却を行っております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	
現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係	
現金及び預金	9,518百万円
預入期間が3か月超の定期預金	23百万円
取得日から3ヶ月以内に償還期限の到来する短期投資	800百万円
現金及び現金同等物	10,295百万円

(株主資本等関係)

当第1四半期連結会計(累計)期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

1 発行済株式に関する事項

株式の種類	当第1四半期 連結会計期間末
普通株式(株)	19,922,156

2 自己株式に関する事項

株式の種類	当第1四半期 連結会計期間末
普通株式(株)	6,564

3 新株予約権等に関する事項

該当事項はありません。

4 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成20年6月27日 定時株主総会	㈱セイジョー 普通株式	利益剰余金	268	25	平成20年3月31日	平成20年6月30日
平成20年6月27日 定時株主総会	セガミメディクス㈱ 普通株式	利益剰余金	404	50	平成20年3月31日	平成20年6月28日

(2) 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

5 株主資本の著しい変動に関する事項

	資本金 (百万円)	資本剰余金 (百万円)	利益剰余金 (百万円)	自己株式 (百万円)	株主資本合計 (百万円)
前期末残高	3,958	4,315	13,547	0	21,820
当第1四半期末までの変動額					
株式移転による変動額	2,958	20,665			17,707
剰余金の配当			673		673
四半期純利益			869		869
自己株式の取得				11	11
当第1四半期末までの変動額合計	2,958	20,665	195	11	17,891
当第1四半期末残高	1,000	24,981	13,743	12	39,711

(注) 株式会社ココカラファイン ホールディングスは、平成20年4月1日付で株式会社セイジョーとセガミメディクス株式会社の共同持株会社として設立しております。

なお、当第1四半期連結財務諸表は、完全子会社となった株式会社セイジョーの財務諸表を引き継ぎ、期首に設立したものとみなして作成しております。

(リース取引関係)

当第1四半期連結会計期間 (自平成20年4月1日至平成20年6月30日)				
リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引 リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額、減損損失累計額相当額及び四半期末残高相当額				
	有形固定資産 (器具・備品) (百万円)	有形固定資産 (車両運搬具) (百万円)	無形固定資産 (ソフトウェア) (百万円)	合計 (百万円)
取得価額相当額	2,001	24	770	2,796
減価償却累計額相当額	1,080	12	628	1,722
減損損失累計額相当額				
四半期末残高相当額	920	11	141	1,073
未経過リース料四半期末残高相当額及びリース資産減損勘定四半期末残高				
未経過リース料四半期末残高相当額				
1年以内				368百万円
1年超				712百万円
合計				1,080百万円
支払リース料、リース資産減損勘定の取崩額、減価償却費相当額、支払利息相当額及び減損損失				
支払リース料				151百万円
減価償却費相当額				138百万円
支払利息相当額				8百万円
減価償却費相当額及び利息相当額の算定方法				
・減価償却費相当額の算定方法				
リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。				
・利息相当額の算定方法				
リース料総額とリース物件の取得価額相当額の差額を利息相当額とし、各期への配分方法については、利息法によっております。				
(減損損失について)				
リース資産に配分された減損損失はありません。				

(有価証券関係)

有価証券につきましては、企業集団の事業の運営において重要なものではないため記載を省略しております。

(デリバティブ取引関係)

当社グループは、デリバティブ取引を利用していないため、該当事項はありません。

(ストック・オプション等関係)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

全セグメントの売上高の合計、営業利益の合計額に占めるドラッグストア・調剤事業の割合が、いずれも90%をこえるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

海外売上高がないため、海外売上高の記載を省略しております。

(企業結合等関係)

当第1四半期連結会計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

株式移転による企業の取得

(パーチェス法適用)

1. 被取得企業の名称及び事業の内容、企業結合を行った主な理由、企業結合日、企業結合の法的形式、結合後の名称及び取得した議決権比率

(1)被取得企業の名称及び事業の内容

名称：セガミメディクス株式会社

事業の内容：ドラッグストア並びに調剤を主体とした薬局を営む小売業及び卸売業

(2)企業結合を行った理由

株式会社セイジョーとセガミメディクス株式会社は、安さを中心としたドラッグストアではなく、地域生活者の健康維持に最大の価値をおくという共通の理念を持ち合わせており、今後急速に移行するセルフメディケーション(自身の健康は自らが守る)時代に社会貢献しうる企業として、事業規模・質とともに極大化することを目的に、経営統合に向けた協議(平成19年2月28日プレス発表)を行ってまいりました。今般、両社はその目的が果たされると判断し、株式移転による経営統合を行うことに合意いたしました。

(3)企業結合日

平成20年4月1日

(4)企業結合の法的形式

株式移転

(5)結合後企業の名称

株式会社ココカラファインホールディングス

(6)取得した議決権比率

100%

2. 四半期連結財務諸表に含まれている被取得企業の業績の期間

平成20年4月1日から平成20年6月30日

3. 被取得企業の取得原価及びその内訳

取得の対価 17,635百万円

取得に直接要した費用 71百万円

取得価額 17,707百万円

4. 株式の種類別の移転比率及びその算定方法並びに交付株式数及びその評価額

(1) 株式の種類及び移転比率

株式会社セイジョーの普通株式1株に対して、当社の普通株式1.1株、セガミメディクス株式会社普通株式1株に対して、当社の普通株式1株を割当交付いたしました。

(2) 移転比率の算定方法

株式会社セイジョー及びセガミメディクス株式会社は、本株式移転に用いられる株式移転比率の算定にあたって公正性を期すため、株式会社セイジョーは三菱UFJ証券株式会社（以下「三菱UFJ証券」という。）を、セガミメディクス株式会社は大和証券エスエムビーシー株式会社（以下「大和証券SMB C」という。）を今回の経営統合のためのフィナンシャル・アドバイザーとして任命し、それぞれ株式移転比率の算定を依頼し、株式移転比率算定書を受領いたしました。

株式会社セイジョーは三菱UFJ証券による株式移転比率の算定結果を参考に、セガミメディクス株式会社は、大和証券SMB Cによる株式移転比率の算定結果を参考に、上記株式移転比率の妥当性について検討を行いました。

三菱UFJ証券は、両社について市場株価平均法及びDCF（ディスカунテッド・キャッシュフロー）法を採用しました。三菱UFJ証券による算定結果の概要は以下のとおりです。

	採用手法	株式移転比率の評価レンジ
	市場株価平均法	1.08 ~ 1.12
	DCF法	0.97 ~ 1.20

市場株価平均法では、平成19年11月9日を基準日として、それぞれ1ヶ月、2ヶ月、及び3ヶ月間の平均株価終値を採用いたしました。

大和証券SMB Cは、両社について市場株価法及びDCF（ディスカунテッド・キャッシュフロー）法を採用しました。大和証券SMB Cによる算定結果の概要は以下のとおりです。

	採用手法	株式移転比率の評価レンジ
	市場株価法	1.06 ~ 1.11
	DCF法	0.60 ~ 1.13

なお、市場株価法については、平成19年11月9日を基準日として、それぞれ1ヶ月、3ヶ月、及び6ヶ月間の出来高加重平均株価を採用いたしました。

株式会社セイジョーは、三菱UFJ証券による株式移転比率の算定結果を参考に、セガミメディクス株式会社は、大和証券SMB Cによる株式移転比率の算定結果を参考に、それぞれ両社の財務の状況、資産の状況、将来の見通し等の要因を総合的に勘案し、両社で株式移転

比率について慎重に協議を重ねた結果、最終的に上記株式移転比率が妥当であるとの判断に至り、合意いたしました。

(3)交付株式数及びその評価額

8,100,000株 17,707百万円

5. 発生したのれん又は負ののれんの金額、発生原因、償却の方法及び償却期間

(1)負ののれんの金額

5,835百万円

(2)発生原因

企業結合時の時価純資産額が取得原価を上回ったことによります。

(3)償却の方法及び償却期間

5年間で均等償却

(1株当たり情報)

1 1株当たり純資産額

当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)
2,000円13銭

2 1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益

第1四半期連結累計期間

当第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	
1株当たり四半期純利益	43円66銭
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	円 銭

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり四半期純利益の算定上の基礎

項目	当第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
四半期連結損益計算書上の四半期純利益(百万円)	869
普通株式に係る四半期純利益(百万円)	869
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-
普通株式の期中平均株式数(千株)	19,917

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成20年8月13日

株式会社ココカラファイン ホールディングス
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 中村 雅一 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 伊藤 嘉章 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 小市 裕之 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ココカラファイン ホールディングスの平成20年4月1日から平成21年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ココカラファインホールディングス及び連結子会社の平成20年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

